

技術は宝だ



2+2 STEP UP!

未来をつかむための四大としての選択肢

東北能開大秋田校で2年
専門力を伸ばす

職業能力開発大学校で2年
応用力を伸ばす

全国に広がる職業能力開発大学校

- ☑ 北海道職業能力開発大学校 (北海道小樽市)
- ☑ 東北職業能力開発大学校 (宮城県栗原市)
- ☑ 関東職業能力開発大学校 (栃木県小山市)
- ☑ 北陸職業能力開発大学校 (富山県魚津市)
- ☑ 東海職業能力開発大学校 (岐阜県揖斐郡大野町)

- ☑ 近畿職業能力開発大学校 (大阪府岸和田市)
- ☑ 中国職業能力開発大学校 (岡山県倉敷市)
- ☑ 四国職業能力開発大学校 (香川県丸亀市)
- ☑ 九州職業能力開発大学校 (福岡県北九州市)
- ☑ 沖縄職業能力開発大学校 (沖縄県沖縄市)



国立工科系大学校
東北能開大 秋田校

TOHOKU NOKAIDAI AKITA

東北能開大秋田校は、厚生労働省所管の国立工科系 大学校です。

+2 年の選択肢

専門課程から応用課程へ、あなたの未来が広がる

新製品の開発、生産工程の構築等に対応できる
将来の生産技術・生産管理部門・建築・施工管理部門の
リーダーを育成します。

機械系

生産機械システム技術科

定員
25名

素材から完成品に至るまでの生産技術を柱に、基礎的な加工技術からCAD/CAMの実習、機械技術まで専門的に幅広く学ぶことができます。



成田 来夢さん

- ・秋田県立小坂高等学校 卒業
- ・東北能開大秋田校 専門課程 生産技術科 修了
- ・東北能開大 応用課程 生産機械システム技術科 進学

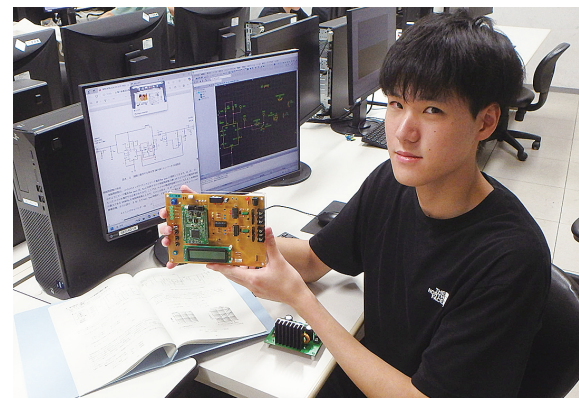
当校から
応用課程に
進んだ先輩

電気系

生産電気システム技術科

定員
20名

電気技術、エネルギー技術及び制御技術を基礎に、自然エネルギー（風力・太陽光）発電の電力制御、電動化技術、工場の自動化・省エネ化技術を学べます。



本館 琉歩さん

- ・秋田県立小坂高等学校 卒業
- ・東北能開大秋田校 専門課程 電子情報技術科 修了
- ・東北能開大 応用課程 生産電気システム技術科 進学

当校から
応用課程に
進んだ先輩

東北能開大応用課程にて
さまざまな技術や能力の習得を目指す

3年次



進学

東北能開大 応用課程（2年制）

専門分野の技能・技術を深めるとともに、
関連する技能・技術を習得し、
それらを活用する能力を習得します。

- 生産機械システム技術科 25名
- 生産電気システム技術科 20名
- 生産電子情報システム技術科 30名
- 建築施工システム技術科 25名

東北能開大秋田校専門課程修了後
東北能開大応用課程へ進学

修了

東北能開大 秋田校 専門課程（2年制）

START



TOHOKU
NOKAIDAI
AKITA

開発課題

ワーキンググループ方式により、
生産・建設現場に密着した製品の企画開発から
製作までの創造的・実践的な
ものづくり能力を習得します。

4年次



将来の自分を考え
さらなる成長を目指す

就職

応用課程修了後の就職
工科大学卒業と同等の待遇で採用

電子情報系

生産電子情報システム技術科

定員
30名

ネットワーク社会に必要なコンピュータのハード（回路）、ソフト（プログラム）、情報ネットワーク技術、組込みマイコン技術の原理や設計方法など幅広い技術を学べます。



嶋崎 勝太郎さん

- ・秋田県立秋田西高等学校 卒業
- ・東北能開大秋田校 専門課程 電子情報技術科 修了
- ・東北能開大 応用課程 生産電子情報技術システム科 進学

当校から
応用課程に
進んだ先輩

建築系

建築施工システム技術科

定員
25名

建築設計から建築構造、建築施工について、基礎から応用までしっかり学べます。現場さながらの環境で行う『リアルな実習』が魅力です。



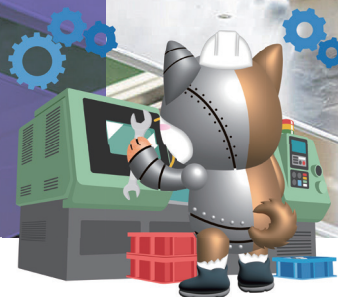
虻川 詞保さん

- ・秋田県立大館桂桜高等学校 卒業
- ・東北能開大秋田校 専門課程 住居環境科 修了
- ・東北能開大 応用課程 建築施工システム技術科 進学

当校から
応用課程に
進んだ先輩

開発課題

開発課題とは新製品の開発を模擬する課題実習です。
与えられた目標・課題に対し学生がチームを組み、
自ら企画・設計・加工組立・評価を行い、製品開発の流れを習得します。
プロジェクト方式の製品開発の流れを参考にしており、
一般大学にはない能開大ならではの独自の教育システムです。



挑む Team Project

学科の枠を超えて挑む
チームプロジェクト

応用課程では、学科の枠を超えてチームをつくり、
共通する課題の解決に挑戦する「開発課題」という
プロジェクトがあります。
それぞれに培ってきた専門分野を活かし、
役割を明確にしながらゴールを目指します。
生産現場を意識しながら、相互に協力・研鑽することで
実社会での実践力を高めることができます。

※建築施工システム技術科は、ゼミごとに実施いたします。

生産システム系

生産機械
システム技術科



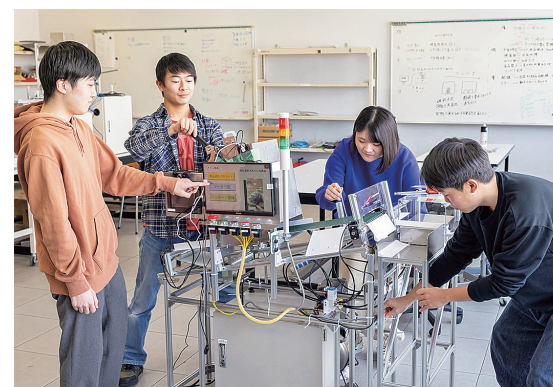
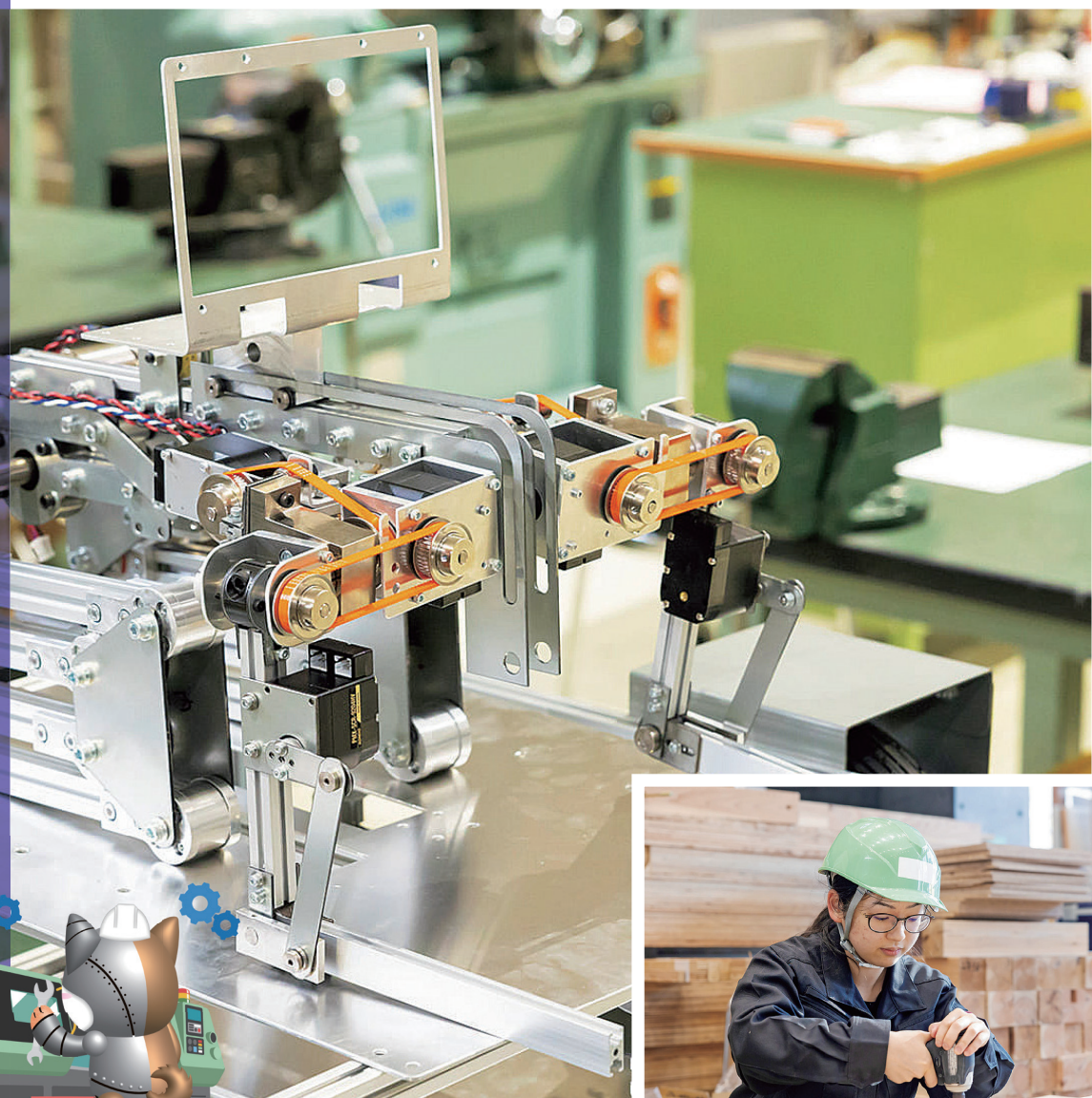
生産電気
システム技術科



生産電子情報
システム技術科

建築系

建築施工
システム技術科



食品加工工場の工程改善 ～梱包工程の自動化～

開発課題の
テーマ事例 1

地元企業の要望をもとに、コンビニなどに販売されている
ジャーキーなどの梱包工程においてパッケージの外観検査
から5袋まとめて梱包機への投入までを自動化する装置
を開発しました。

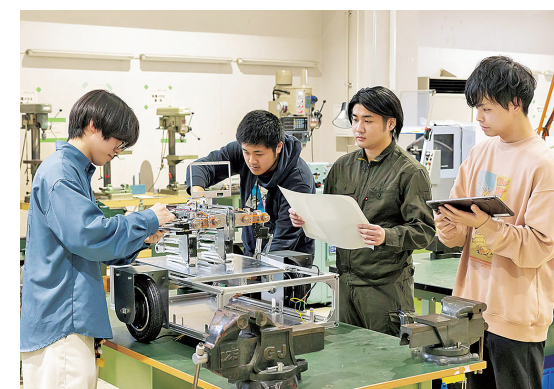
通常のカメラでは見えないシール部の検査には、裏側から
赤外線当ててパッケージを透過させ、赤外線カメラで
内容物の噛み込みを検出することを可能にしました。また、
赤外線を製品の裏側から照射可能とするベルトコンベアも
製作しました。

開発課題の テーマ事例 2 大学校PR用対話型 トランスフォームロボットの開発 ～対話型トランスフォームロボット「カワマたん」～

本課題では、アミューズメント機器を通じて、実践的
デジタル技術に対応できる人材の育成機関としての東北職業
能力開発大学校をPRすることを目的として、対話型トラン
スフォームロボット「カワマたん」※を開発しました。

本機はメカニズムを活用し、車型から人型へトランス
フォームします。また、タブレットとマイクを使用した無
線通信での会話が可能で、表情検出機能や姿勢ものまね機
能などのAI機能を搭載しています。

※東北能開大 川又前校長の名前に由来しています。



玄米梱包工程における 脱酸素剤投入装置の開発

開発課題の
テーマ事例 3

精米・加工会社では、白米や玄米の加工・販売を行って
います。流通時の品質の安定確保のために脱酸素剤を手作
業で投入しているラインがあります。

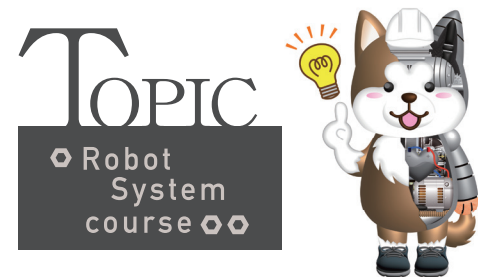
手動投入は生産性を低下させ、繁忙時に顧客の要望に応
えづらくなります。脱酸素剤を自動投入したいという技術
的要望をいただき自動投入装置の開発に取り組みました。

開発課題の テーマ事例 4 木造建築物を利用した コミュニティ施設の構築支援

築70年の空き家古民家を、NPO法人がフリースクールを
主としたコミュニティ施設として再生する工事の支援を実
習対象としています。

老朽化で居住困難なため、主要構造部材の補強と壁量確
保による構造耐力向上を図り、建築技術の習得に取り組ん
でいます。



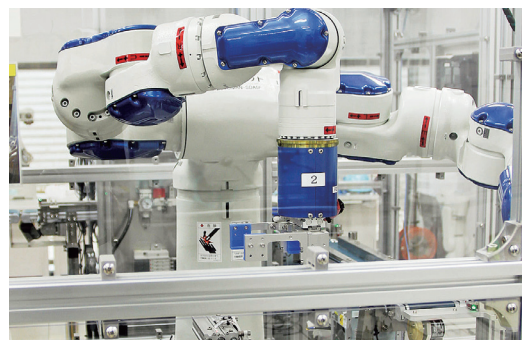


生産ロボットシステムコース

高まり続けるニーズに対応！
生産ロボットの知識と技術を深めよう！

応用課程3科では、従来の専門科目に加えて産業用ロボットについて学習します。希望者は自動化システムの構築も学びます。

これらの授業をとおしてロボットSler（システムインテグレータ：ロボット技術を組み合わせて自動化システムを構築するエンジニア）を目指すことができます。



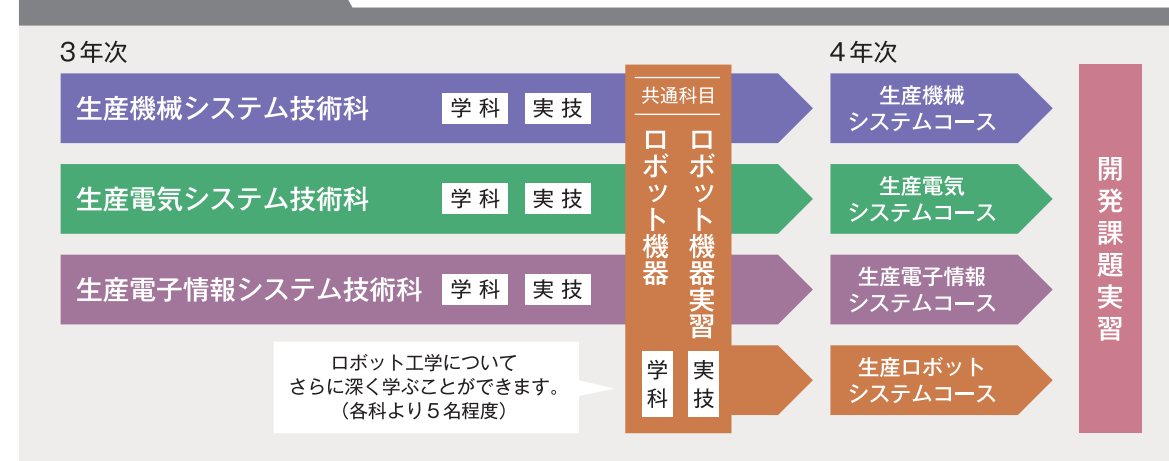
目 的

生産ロボットシステムコースでは、①産業用ロボットを用いたシステム構築、自動化システムへの適用技術、②保守・メンテナンス技術、③組み組みプログラム、IoT技術に対応したネットワーク技術を強みとし、システムや製品の企画・開発から生産工程の改良・改善・運用・管理等に対応できる高度なスキルを有するエンジニアやSier（システムインテグレータ：ロボットを組み合わせて自動化システムを構築する技術者）の育成を目指します。

【本コースで身につくチカラ】

- ①産業用ロボットを用いたシステム構築、自動化システムへの適用技術
- ②保守・メンテナンス技術
- ③組込みプログラム、IoT技術に対応したネットワーク技術等

カリキュラムイメージ



+2年のその後

応用課程を修了した先輩たち



伊藤 和樹さん

平成30年度
秋田県立大館鳳鳴高等学校 卒業
令和2年度
東北能開大秋田校 専門課程
電子情報技術科 修了
令和4年度
東北能開大 応用課程
生産電子情報システム科 修了

地元へ貢献するIT技術者へ

■ 応用課程へ進学したきっかけ

伊藤さんは高校時代に車の安全技術「アイサイト」に興味を持ち、プログラムや組み込み技術への関心から当校の電子情報技術科へ入学しました。総合制作実習（卒業研究）で「自動運転ロボット」を作り、その時のセンサー技術が面白く、もっと深く学びたくなり応用課程へ進学しました。

■ 地元のIT企業へ就職

応用課程修了後は地元へ貢献したいと志し、秋田県北有数のIT企業である「東光コンピュータ・サービス株式会社」に入社しました。

現在の仕事は、大館市等の基幹システム保守などの非常に重要な業務を担当し、忙しいながらも充実した生活を送っています。

今後は秋田県内にとどまらず、全国へシステム保守の導入を目指し、企業の成長を通じて地域を活性化し、地元貢献していきたいと強く思っています。

■ 後輩たちへのアドバイス

応用課程の実習は、実際の業務に近い環境で行われており、現場力の向上に役立っています。これにより同社に入社後のミスマッチが少なく、スムーズな職場適応が可能となり、応用課程で培った応用知識や経験が、業務に活かされています。



富樫 我夢さん

令和2年度
秋田県立大館鳳鳴高等学校 卒業
令和4年度
東北能開大秋田校 専門課程
住居環境科 修了
令和6年度
東北能開大 応用課程
建築施工システム技術科 修了

地方活性化を目指し職業訓練指導員へ

■ 応用課程へ進学したきっかけ

高校時代に建築分野に興味を持ち、多くの実習を通して実践的な力が付けられることを魅力に感じ、しかも学費も安価なので、当校の住居環境科へ入学しました。入学後の木造住宅やRC造の実習を通じて、さらに建設業の最先端の知見を広げたことがきっかけで応用課程へ進学しました。

■ 地方活性化を目指し、職業訓練指導員へ

応用課程修了後は、東北地方の活性化を目指し職業訓練指導員になりました。現在は秋田県潟上市のポリテクセンター秋田で居住系の職業訓練をしており、常に新しい知識を学び続ける意識を持ち、ものづくりの楽しさを伝えるとともに、地域のニーズに応える人材育成に努めています。

■ 後輩たちへのアドバイス

応用課程の実習で、材料の選定や品質の管理、作業主任者としての指示など、実際の現場に近い形で学べた経験は、知識や技能の指導に活かされています。新しい環境に足を踏み入れるには勇気が必要ですが、皆さんの視野を広げ、未来への選択肢を増やすためにも、前向きに進学を考えて欲しいです。

入校ガイド

(参考) 東北職業能力開発大学校の場合

入校試験概要

推薦入校試験

願書受付	4月下旬～5月上旬	試験日	5月中旬	合格内定通知	5月下旬
出願資格	専門課程の高度職業訓練を翌3月に修了見込みで、校長が責任を持って推薦できる方で且つ応募科と同系の学科に在籍する方。				
主 な 対象校	東北職業能力開発大学校、秋田職業能力開発短期大学校、青森職業能力開発短期大学校 岩手県・山形県・福島県の県立産業技術短期大学校				
受講料	18,000円	試験会場	東北職業能力開発大学校		
選考方法	書類審査、面接試験				

一般入校試験

願書受付	6月上旬～中旬	試験日	7月上旬	合格内定通知	7月中旬
出願資格	次の(1)(2)のいずれかの条件を満たす方。 (1) 専門課程の高度職業訓練を修了した方（応募科と同系に限る。3月修了含む） (2) 以下のいずれかに該当する方 ・実務経験により応用課程の教育訓練を受けるにふさわしい技能・知識を有する方。 ・大学、短期大学校、専修学校、高等専門学校等において応募科と同系専門課程の学科を卒業又は卒業見込みの方。				
受講料	18,000円	試験会場	東北職業能力開発大学校及び各ブロック大学校		
選考方法	筆記試験（各科の専門的内容）、面接試験				

学 費

進学について考える時、学費と共に生活に掛かる費用も気になると思います。入校時と在校中にどれくらい必要なのか、金額の目安をお知らせいたします。

□学費等

区 分	3年次 (応用課程)	4年次 (応用課程)
受 験 料	18,000円	
入 校 料	112,800円	
授 業 料	390,000円	390,000円
合 計	520,800円	390,000円

※このほかにテキスト代、実習用具代、実習服代、安全用具代などがかります。

□寮費等(概算)

区 分	年 間	月 額
寄 宿 舎 使 用 料	56,400円	4,700円
寮 費 (共益費)	138,000円	11,500円
備品更新積立金	3,600円	300円
食 費※	約260,000円	
クリーニング代	13,200円	(※退去時のみ)
合 計	471,200円	

※食費は変動するため概算値を示しています。 ※土・日・祝日は食事が基本ありません。
※長期休暇(夏・冬・春)の際は閉寮期間があります。

東北職業能力開発大学校附属 秋田職業能力開発短期大学校 学務援助課

〒017-0805 秋田県大館市字扇田道下6-1
TEL.0186-42-5600(代表5700) FAX.0186-42-5719

○ホームページで最新情報をご覧ください。
<https://www.3jeed.go.jp/akita/college/>

東北能開大 秋田校



Access

- 東北自動車道 十和田I.C.～国道103号線 …… 約20km
大館北I.C.～国道7号線 …… 約5km
- JR大館駅下車 市内バス路線
大館駅前から大館市役所前(約15分) 下車し、1.2km(徒歩約15分)
- JR東大館駅から2.1km(徒歩約25分)

